

花いっぱいサポーター、感謝です

11月28日(火)、プランターへの苗植えを行いました。地域の方や保護者の皆様が21名お手伝いしてくださいました。てきぱきと慣れた手つきで作業が進み、あっという間に苗植えが完了しました。

今回植えたチューリップの花言葉は「思いやり」「博愛」です。花が咲く頃にはかわいい新1年生が4名、本校に入学してくる予定です。「学校は楽しいところだよ」という思いが、花を通して伝えられればいいですね。

お手伝いくださった皆様、ありがとうございました。



合同避難訓練、無事に終了しました

11月30日(木)、小・中・高・地域合同の避難訓練を実施しました。町内全体での避難訓練は大変珍しく、錦町の連帯感の強さを表していると感じました。誰もが真剣に訓練に取り組んでおり、すばらしいと思いました。

訓練後、消防署員のお話の中で「釜石の奇跡」の話がありました。東日本大震災の折、中学生が小学生の手をとり高台に逃げたため、学校から避難した児童生徒全員が津波にのまれることなく助かったという内容です。ただ、実際にはかなり緊迫した状況があったみたいです。

『(中学生の自分は)大きな揺れの地震だったので、中学校から各々でんでばらばに、800m離れたいつも避難訓練で行っている避難所に逃げた。そこで小学生と一緒になった。崖崩れの兆候があったため急遽小学生と一緒に高台に逃げた。もしはじめての避難場所にいたら、津波に流されていた。』ということのようです。当時の中学生は後日このようなことを話しておられます。

「自分たちは、ただ運良く逃げられただけ。住んでいる街や学校の防災が『もっとリスクを減らせないか』『間違っていないか』と考えながら、準備をすることが大切。」

避難訓練後、私は児童に『自分の身は自分で守る』『どうすれば命が助かるか考える』ことが大切です。そのきっかけが今日の避難訓練です。」と話しました。ご家庭でも、防災避難についての話をしてくださると助かります。



みんなが頑張った持久走大会

12月2日（土）、小中合同持久走大会を実施しました。師走らしく最低気温が氷点下まで下がり、見守る保護者も役員も大変つらかったことと思います。整理員等の役員を担ってくださった学校運営協議会、錦千守会、やましろ商工会、にしき安全パトロール、そして保護者の皆様、おかげで無事に大会を終えることができました。また、我々教職員が動く前に後片付けをすべて済ませてくださった皆様もおられます（子どもを帰した後広瀬高校グラウンドに行くと、荷物はすべて運び終わった後で、トンボ掛けまで終了していました）。朝早くから、大きな声で声援をおくってくださった方もたくさんおられます。本当に感謝しかありません。ありがとうございました。

さて、そんな優しい方々に見守られ、児童も最後まで力を振り絞って頑張りました。私はずっとゴール前にいましたが、歯を食いしばって走る姿を見て、大げさではなく感動してうるうるしました。どんなに努力をしても、思うように勝てないのが人生です。しかし、たとえ負けたとしても「自分は最後まで頑張れたんだ」という自信はなくなりません。勝った人も負けた人も役員も、各々の場所でキラリと輝いた持久走大会でした。



総勢160名以上！錦・美川ってステキ♡

12月2日（土）、持久走大会後に「錦・美川を盛り上げようイベント」を、本校体育館で開催しました。11月11日の中学校区拡大熟議で『錦川清流線カラーの千羽鶴をみんなで作る』ということが決まり、それが今回のイベントにつながりました。学校便り等で呼びかけてはいましたが、土曜日ということもあり多数の参加は難しいだろうと考えていました。しかし、保護者や地域の皆様が大勢集まってくださり、160名を超える参加者で、協力して鶴を折ることができました。児童がお父さんに折り方を教えたり、生徒が地域の方に折り方を教えたり、頭をつきあわせて鶴を折る姿がとてもほほえましかったです。当日折りあがった鶴の数は819羽です。皆様、ご協力ありがとうございました。

